



卓球大会 ライジングボールで熱戦

笹賀公民館は1月25日、町内公民館対抗の卓球大会をライジングボールで開催し5チーム60人余が参加して熱戦を展開しました。

卓球大会の軌跡



多目的ホールで開催した卓球大会は通算41回を数え、先人が繋いできた地域では伝統のある行事です。従来からなじみのある硬式ボールから日本スポーツ協会が生涯スポーツとして推奨する種目のライジングボールに変更して数回が経過しました。本年度は参加チーム数が少なめで往年の強豪チームの姿が見られず寂しい感も拭き取れませんが、世代交代も含め老若男女そろい踏みの大会になりました。

41回大会の素描



大会は総当たりのリーグ戦による男女混成の4シングル1ダブルスの団体戦を11点3ゲームスマッチで行いました。試合には空港東、神戸新田、神戸、上二子、下二子の5チームが参加して優勝を競い、結果は3チームが3勝1敗の接戦で競技ルールによる判定に持ち込まれました。それぞれ健闘する姿が見られ得失マツチ率により、優勝・神戸、準優勝・空港東、3位・上二子で4位・下二子、5位・神戸新田の順位になりました。

出場選手の心意気



優勝した神戸公民館の清沢光人さんは「出られなかった年もあるがほとんど出場している。伝統的な大会ですが参加チームが減り残念です。それでも参加者との交流が深められました」と嬉しそうに話していました。

準優勝の空港東は上級者揃いで望みましたが、一歩及ばず涙を呑み、西川和子さんは「今度は勝ちたい」と意気軒昂で、3位になった上二子の赤羽淳子さんは「1ゲームの差で3位1位に分かれた結果に驚きと悔しさ」をにじませています。4位、下二子の小高克己さんは「かつては優勝狙いのチームでしたが、世代交代の時期」と言い、5位の神戸新田、山田賢司さんは「チームづくりが出来て参加できた経緯が嬉しい」と感慨深げでした。



「カフェどなたでも」開店



2月5日(木) 笹賀地区福祉ひろばの、ひろば喫茶「カフェどなたでも」が開店しました。13時30分～15時30分(L.O. 15時)の午後のひとときを過ごす方と多くの方が集まりました。おひとり200円でコーヒーまたは紅茶、お菓子付き。なんてリーズナブルでしょう。



店内は、6人掛けのテーブルが6つ用意されていました。急遽追加されたテーブルもすぐに埋まり、あちらこちらから賑やかな声が聞こえてきました。次々と運ばれていくお菓子を見て、用意した数では足りないかも?と心配するスタッフもいました。

2月5日(木) 笹賀地区福祉ひろばの、ひろば喫茶「カフェどなたでも」が開店しました。13時30分～15時30分(L.O. 15時)の午後のひとときを過ごす方と多くの方が集まりました。おひとり200円でコーヒーまたは紅茶、お菓子付き。なんてリーズナブルでしょう。店内は、6人掛けのテーブルが6つ用意されていました。急遽追加されたテーブルもすぐに埋まり、あちらこちらから賑やかな声が聞こえてきました。次々と運ばれていくお菓子を見て、用意した数では足りないかも?と心配するスタッフもいました。暖かな光が差し込むひろば喫茶は、スタッフ8名、参加者48名、大盛況でした。この日は、公民館で衆議院議員総選挙期日前投票が行われており、喫茶の後に行く方、また投票した後に喫茶に寄る方がいて、予想外の人数になったようです。店内の居心地がよく、回転が悪い、主催側としては嬉しい悲鳴でしょう。今期は3回開催してこの日で終了しました。回を重ねるごとに参加者が増えています。来期も開催を予定していますのでお楽しみにお待ちしております。



うらな 願を 音楽の 風景

第8回

世界中の子どもたちが「戦争を知らない子供たち」になれますように!



2月1日(日) 13時半より、松本看護大学・松本短期大学において、同大学と笹賀公民館共催で、第8回音楽の風景、ケ・セラとぼこ・あ・ぼこのジョイントコンサートが開催されました。会場は満席。200人を超える大盛況でした。会場の窓を覆うカーテンに、折り紙の四つ葉のクローバーがたくさん付けられていました。これは両大学の学生たちが忙しい合間を縫って、みんなで折ったものです。このコンサートは、音楽の風景のひとつの締めくくりとして、平和をテーマに企画されました。ぼこ・あ・ぼこは結成32年を迎え、松本を拠点に自然・平和・日々の暮

らしを歌にして活動しています。ケ・セラは障がいを持ちながらも「音楽でメシを食う」を台言葉に社会的自立をめざす皆さんです。まずはぼこ・あ・ぼこの皆さんの演奏です。安曇野の情景を謳い上げた歌、日々の出来事や想いなどの歌に、普段見ているものの中に大切なものをまた見つけた気持ちになり、ほっこりとしてきます。そして、戦時中に毛皮にするために、飼ひ猫を供出しなければならなかったお話の歌では、戦争という辛さが猫にまで及んでいたことを知りませんでした。また、戦後に憲法が変わったことを、先生が生徒に教える歌がありました。

た。戦争がいかに愚かか、平和であるという事がどれだけ幸せなのか、その平和の上に日常の生活があるという事を深く感じました。休憩を挟

んでケ・セラの皆さんの演奏です。みんな緊張・集中していますが、演奏が始まった瞬間、音に合わせて「とても楽しい」という気持ちが始まるように飛んできました。まるで音符が弾んでこちらに向かってくるようです。音楽は心という言葉がありますが、まったくその言葉どおりに感じました。演奏に歌と踊りを組み合わせ「パプリカ」では、松本短期大学介護福祉学科の学生が飛び入り参加し「手話」で一緒に歌ってくれました。コンサート終了後にケ・セラの皆さんにインタビューしました。それぞれひとりひとりにお話を聞きたかったのですが、全員に一つの質問をしました。「たくさん練習したと思います。練習は辛かったですか? 楽しかったですか?」すると、楽しかったです。「その後も「演奏がとても楽しかった」「仲間が助けてくれました」「ぼこ・あ・ぼこのジョイントができてとても嬉しかったです」などなど、個別の感想もあふれてきました。ぼこ・あ・ぼこの心に語りかけてくる歌で、戦争をすることがいかに愚かなことか再認識しました。そして、そのための努力ができる力と元気をケ・セラからもらえたと感じたコンサートでした。

ありがとうアップルツリー

笹賀公民館で約8年間活動してきた「アップルツリー」は、2025年12月をもって活動を休止しました。振り返ると、笹賀地区文化祭ではフランクフルトや焼きそばなどの模擬店で毎年盛り上げ、子ども会育成会と協力して食育事業を実施、福祉の地域づくり協議会と共催し子育て世帯向け講座を開催するなど、さまざまに取り組みを行っていただきました。代表の矢島美咲さんからのコメントです。

2017年から「こどもととな食堂」を運営してきましたアップルツリーの約8年間の活動を振り返ると、たくさんの思い出が蘇ってきます。特にコロナ禍においては、迷い、悩みながらの活動となり、印象深いです。この時期だったから、やりたいと思い実現できたこと、継続していたから出会えたご縁もあり、その後の活動にも繋がっていききました。



今年度が最後の開催と知り、お手伝いに入ってくださる方や参加してくださる方もいて、思いうちや感謝の言葉を寄せていただくこともありました。小さかったお子様たちが、それぞれに大きく成長している姿にも触れ、心が温かくなりました。ここまで続けてこられたのは、参加してくださった皆様、お手伝いいただいた皆様、ご寄付やご支援をいただきました皆様、公民館のサポートなど、たくさんの方々に関わっていただき、温かく見守っていただいたおかげです。皆様から感謝しております。ありがとうございます。これまでの活動の様子はブログにまとめてあります。appletree.naganoblog.jp よろしければ、ご覧ください。